

1 アンモナイトの化石レプリカを作ろう



○アンモナイトの化石

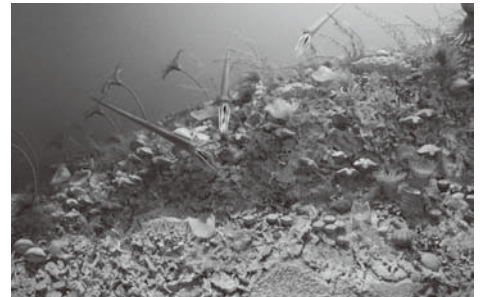
〔特徴〕

| | |
|-------------|------------|
| ◇いつの時代の示準化石 | 中生代 |
| ◇生息していた場所 | 海の中 |
| ◇何のなかに近い | イカやタコのなかに |
| ◇いつごろ絶滅した | 約 6600 万年前 |

2 化石から過去の環境を調べよう


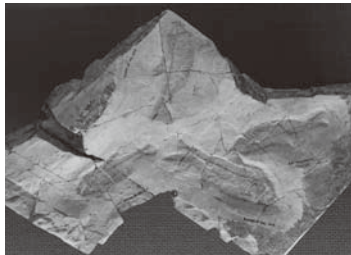

(1) 太古の北九州のようすを知るためには、地層を調査して岩石や化石を探し、それらについて調べていく必要があります。次の文の()に適切な言葉を入れ、文章を完成させましょう。

右の写真は、エンバイラマ館入口にある「サンゴ礁の時代」のジオラマです。約3億年前、平尾台などの石灰岩は、サンゴ礁が育つ暖かい海に位置した島として存在していました。北九州では、門司区青浜の梅花石に見られる(ウミユリ)や(アンモナイト)など、当時のようすを知る貴重な化石が数多く発見されています。それらをもとに、当時のようすをジオラマとして復元しています。



「サンゴ礁の時代」ジオラマ

(2) エンバイラマ館「リサーチゾーン」の展示を見ましょう。写真の化石を探し、名前と時代を答え、その生物が生息していた環境を推測しよう。

| | | | |
|----|---|--|---|
| 資料 |  |  |  |
| 名前 | (ウミユリ)梅花石 | ディプロミスタス | ペンギンモドキ |
| 時代 | 古生代石炭紀 | 中生代白亜紀 | 新生代古第三紀 |
| 環境 | 暖かい海 | 湖や川 | 暖かい海 |